

【新規格付け】 東日本高速道路

第2回社債（一般担保付、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構重畳的債務引受条項付）：A A A

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付けを公表しました。

【格付け理由】

東日本高速道路は道路関係四公団民営化によって、旧日本道路公団などの分割・再編により発足した高速道路会社6社の中の1社であり、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構と結んだ協定に基づき、北海道、東北、関東を中心に東日本の幅広い地域で高速道路の新設、改築、維持、修繕その他の管理を手掛けている。

格付け対象社債は道路建設資金を調達するために発行され、建設期間中は同社の負債だが、高速道路資産が機構に帰属すると、資産とともに機構が引き受けることになっており、その元利払いの確実性は最終的には機構の信用力（発行体格付け＝A A A）に帰着する。機構へ債務を引き渡すスキームが確実なうえ、道路建設に支障を来たす事態が発生した場合に国がサポートする可能性も極めて高いと見ている。自社でリスクを負う関連事業等で会社自体の経営内容に問題が生じれば、円滑な道路建設の執行に支障を来たす懸念は否定できないものの、そのリスクも極めて小さい。

同社は、サービスエリア・パーキングエリア（SA・PA）を運営する道路休憩所事業、駐車場、トラックターミナルなどの関連事業を行っている。道路休憩所事業の強化のほか、カード、宿泊特化型ホテルなど新規事業も手掛けていくが、関連事業で資産を増やさない方針で、事業リスクが膨らむ懸念は小さい。自己資本は事業リスクからみて十分な水準にあるうえ、中期経営計画では有利子負債（機構に引き渡す予定の債務を除く）の半減を目指すなど財務体質の維持・強化に取り組んでいる。

これらの点から、当該社債は引き渡し前であってもデフォルトはまず考えられず、格付けは機構の格付けと同じとした。

【格付け対象】

発行者：東日本高速道路

名 称	第2回社債（一般担保付、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構重畳的債務引受条項付）
発行額	250億円
発行日	2007年10月22日
償還日	2010年9月17日
表面利率	1.17%
格付け	A A A（新規）
債務引受の予定先	独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構
担保	一般担保
社債管理者	みずほコーポレート銀行

●お問い合わせ先 **格付投資情報センター 格付本部** 〒103-0027 東京都中央区日本橋1-4-1 日本橋一丁目ビルディングTEL.03-3276-3419 FAX.03-3276-3420 <http://www.r-i.co.jp> E-mail infodept@r-i.co.jp

格付けは、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務（債券やローンなど）の支払いの確実性（信用力）に対するR&Iの意見を、一定の符号で投資家に投資情報として提供するものであり、債券やコマーシャルペーパーなどの売買・保有を推奨するものではありません。格付けは信頼すべき情報に基づいたR&Iの意見であり、その正確性及び完全性は必ずしも保証されてはいません。格付けは原則として発行者から対価を受領して実施したものです。